

みんなの消防

入間東部地区事務組合（三芳町・富士見市・ふじみ野市）
〒356-0058 ふじみ野市大井中央1-1-19 ☎ 261-6000(代) FAX 261-4395
HP <http://www.irumatchbu119.jp/> shobo@irumatchbu119.jp(代)
火災の問い合わせ ☎ (263)0119(音声案内) / 救急病院の御案内 ☎ (261)6031(休日・夜間)



火の点検
指さし確認
もういちど（入間東部地区事務組合）
防火標語

！リチウムイオン電池からの出火にご用心

リチウムイオン電池は、一般的に普及している電池等と比較して、小型・軽量・高容量が特徴で、身近で多くの製品（スマートフォン・モバイルバッテリー・加熱式タバコ等）に使われていますが、充電中や機器の使用中に出火する事例が増えています。

▼発火を防ぐには？

- ・使用する前に取扱説明書を必ず確認する。
- ・製品に衝撃を与えない。むやみに分解しない。
- ・高温になりやすい車内や、直射日光のあたる場所に放置しない。
- ・製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する。
- ・充電中に熱くなるなど異常がある場合は、使用をやめて製造業者や販売店に相談する。

▼こんな電池は要注意！

- ①電池が膨らみ、変形している。
- ②充電中や使用中に、電池が異常に熱くなる。
- ③充電できないなどの不具合がある。
- ④バッテリーの減りが早い。

▼万が一火災が発生したときは？

- ①火花や煙が激しく噴出している場合は、近寄らない。
- ②火花や煙の勢いが収まつたら、消火器や大量の水で消火。
- ③消火後、安全に配慮し、可能であれば水没させる。
- ④安全な場所から119番通報。

・三芳町でのリチウムイオン電池廃棄…

- ①まずは購入店に相談！
- ②①で廃棄できない場合は、環境センター（ふじみ野市駒林1117）に持参か「有害ごみの日」に出す。
「電池入り」と書いた透明・半透明のビニール袋に入れて廃棄。膨らみ・変形している電池の場合はその旨も明記する。

！ヒートショックに注意

暖かい部屋から寒い浴室へ移動する時など、急激な温度変化により血圧が急変し身体がダメージを受けることを「ヒートショック」といいます。ヒートショックは心臓に負担をかけ、心筋梗塞や脳卒中を引き起こす可能性があり、軽度の症状には「めまい」「立ち眩み」などがあります。若年層でも飲酒後の入浴や、動画を見ながらの長風呂などは注意！

▼予防のポイント

- ①浴室を十分に暖めてから入浴する。
- ②浴槽から出るときは、手すりや浴槽のへりを使ってゆっくり立ち上がる。
- ③事故の際の早期発見のため、周囲の方へ声をかけてから入浴する。



▼火災予防キャンペーンの実施

3/7は『消防記念日』。毎年3/1～7は春季全国火災予防運動が実施され、当消防本部では大型商業施設などで火災予防キャンペーンを実施し、消防車の展示や火災予防啓発品を配布します（詳細が決まり次第、HPでお知らせ）。

消防署では住宅用火災警報器の取付支援も実施中。家族の命や大切な財産を守るために、必ず設置しましょう。

問 予防課 ☎ 261-6007



▼消防出初式を挙行

1/11(日)に東消防署で、消防出初式を挙行しました。分列行進や消防演技の他、ほんごう幼稚園の可愛らしい演技や富士見太鼓の会の迫力ある演技が花を添えました。消防職員・消防団員が一致団結して防災体制を強化し、管内の皆さんのが本年も安心して暮らせるよう、努力していきます。



▼入間東部地区事務組合 防災館

入間東部地区事務組合消防本部に防災館があることを知っていますか。防災館は子どもから大人まで楽しみながら防災について無料で学べる施設です。

災害はいつどこで起こるかわかりません。日頃から万一の場合に備え、いざという時には落ち着いた行動をとることが大切です。ぜひご家族でお越しください！

▶場所：ふじみ野市大井中央1-1-19 ▶開館時間：8:45～17:00

▶休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日等の場合は開館）、年末年始



町で行われたイベントや活動をお届けします！広報に掲載された人で希望者には、写真を差し上げますので、秘書広報室にご連絡ください。
【問い合わせ】秘書広報室 ☎ 049-258-0019(内線314)



↓揃いのゼッケンで走る「親子の部」参加者。



青 空の下、244人が駆け抜けた 新春ロードレース大会

「よーいスタート！」。三芳町の新春を告げる号砲が役場庁舎前に鳴り響いた1/18(日)。新春ロードレース大会が開催され、子どもから大人まで幅広い世代の244人が参加し、新春の晴れ空の元、晴れやかな表情で役場に設定された周回コースを駆け抜けました。子どもと保護者が一緒に走る親子の部では、親子の絆を確かめるようにお互いのペースを認しながら走っていました。

Photo NEWS

世界に認められた農法を体験

令和7年度 体験落ち葉掃き開催

1/17(土)、上富の多福寺境内林で開催した体験落ち葉掃きには、子どもから大人まで270人が参加。世界農業遺産に認定された伝統農法「武蔵野の落ち葉堆肥農法」に欠かせない落ち葉掃きを体験し、地域に伝わる農業の知恵や自然・文化を学びました。



↑イベント後には、落ち葉堆肥農法でつくられた「富の川越いも」を堪能。



未 来につながる経験を堂々と発表 子どもにやさしいまちづくり合同報告会

12/20(土)、藤久保公民館で初開催された「子どもにやさしいまちづくり合同報告会」。今年度、マレーシアやオーストラリアへの海外派遣事業や地域・自然の中などでの体験事業に参加した、町の中学生など39人が集まり、自身の体験を堂々と発表しました。「今回の経験をこれから的人生の糧にしていきたい」と目を輝かせて語る姿に、来場者は大きな拍手を送っていました。